

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	0270100977		
法人名	医療法人白鷗会		
事業所名	まちだグループホーム		
所在地 (電話番号)	〒038-0058 青森県青森市羽白字沢田5の2 (電話) 017-788-6749		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成21年10月20日	評価確定日	平成21年11月13日

【情報提供票より】(平成 21年 7月 31日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 12年 4月 17日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	14 人	常勤 14人, 非常勤 人, 常勤換算	12.3人

(2) 建物概要

建物構造	木造モルタル 造り		
	2 階建ての 階 ~ 1 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	6,000 円	その他の経費(月額)	15,000 円
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000 円		

(4) 利用者の概要(7月 31日現在)

利用者人数	18 名	男性 4 名	女性 14 名
要介護1	1 名	要介護2	4 名
要介護3	5 名	要介護4	5 名
要介護5	3 名	要支援2	名
年齢 平均	83.8 歳	最低	62 歳
		最高	95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	まちだ内科・眼科クリニック、大澤歯科医院
---------	----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

JR津軽線近くの住宅街の一角に位置し、木造2階建の病院を改築し、1階部分がグループホームである。周辺には学校、病院、集会所、商店等があり、特に母体である病院が道路の向側にあり協力体制が築かれ、利用者、家族にとっては安心できる環境となっている。管理者、職員の落ち着いた声掛け、関わりにより利用者は皆さん穏やかな表情で安らぎのある雰囲気過ごされている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の評価結果をもとに全職員で話し合い、改善可能なものについては、取り組みがなされている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	全職員からの聞き取りをもとに管理者が行っており、外部評価の結果は伝達され、改善可能なものについては取り組みがなされている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議は2ヶ月に1回開催され、日々のサービス提供状況並びに取り組みについて話し合いが持たれ、サービスの質の向上につなげている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)
	面会時に気軽に苦情、要望等を話してもらえような雰囲気作りに努めている。特に苦情処理の方法については丁寧に説明され、掲示もしている。出された意見等については話し合いをし、運営に反映されている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域の一員として、地域との交流は図られている。しかし、地域住民であり、地域に開かれた存在であることを自覚し、更なる交流、地域貢献を期待したい。

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスの意義を全職員が理解し、「地域とのふれあいを大切に、一緒にゆっくり、楽しみながら、その人らしく暮らしていくことを支援します」という独自の理念を作りあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は掲示され、啓発が図られている。職員は朝礼、ミーティング等で日常的に確認し、実践されている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	町内のねぶた祭りや市民センター祭りへ参加されている。散歩、買い物時、挨拶を交わし、気軽に声を掛けてもらう等の日常的な交流がなされている。		今後、地域住民の一員としてより開かれた存在であるとの自覚を強め、地域との交流をより積極的に努めることに期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己評価、外部評価の意義について全職員が理解している。評価実施後は改善点を話し合い、対策を検討し、サービスの質の向上に努めている。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月1回運営推進会議が開催され、利用者の状況、行事等の報告がなされ、意見交換が行われている。</p>		<p>利用者の家族、町内会、市担当者等へも参加を働きかけ、相互的な話し合いがなされることを期待したい。</p>
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>月1回程度、市担当者へ出向き働きかけている。運営推進会議議事録を提出し、情報交換の機会を作るよう努めている。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>現在までに相談はないが、外部研修を受け、その資料が配布され、伝達がなされている。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待、抑制防止について全職員が理解しており、話し合いが行われている。日頃から尊厳を重視した取り組みがなされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>重要事項説明書に基づいて、利用者、家族にわかりやすく説明し、同意を得ている。疑問等についても十分な説明をしている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族の面会時に暮らしぶり、健康状態、金銭管理等を報告し、同意を得ている。また、必要に応じて電話連絡をしている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>日頃から、面会時等に、気軽に意見・要望・苦情が話せる雰囲気作りに努めている。苦情処理については、その方法が掲示され、丁寧に説明されている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動は少ない。離職の際は、利用者へのダメージを防ぐ配慮がされ、信頼関係が築かれるよう努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>事業所内外の研修には毎年計画的に参加し、研修の内容を記録され、伝達されている。</p>		
14	18	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>東青グループホーム協会に加盟し、他のグループホームと夏祭りや研修会、相互訪問等交流の機会があり、自らの取り組みを見直し、サービスの質の向上に努めている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用者の生活歴、趣味、性格等を事前に家族・関係者等より聞き取りし、利用者に安心感を持って利用してもらえるよう、家族等と相談しながら行っている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者の意見に耳を傾け、コミュニケーションを大切にしながら、利用者のペースに合わせ共に支えあう関係を築いている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者の言動、表情、利用者同士の会話等から希望や意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者、家族の意向を主体とし、関係者間の話し合いのもと、介護計画を作成している。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>毎月1回全職員でのミーティングで利用者の現状、気づき等意見を出し合っている。介護計画は3ヶ月に1回見直しされている。利用者の状況に変化のある場合は、その都度話し合いをし、現状に即した介護計画の見直しをしている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>母体である医療法人との連携を活かして24時間体制で支援している。利用者、家族の要望に応じて、外出、通院支援等柔軟に対応している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	利用者並びに家族と相談し、希望するかかりつけ医となっている。		
22	44	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	母体法人のクリニックとの連携により、利用者の状況変化に合わせて対応することを入居時、家族、医師、職員と話し合いがなされ同意が得られている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	言葉掛けや対応等、日々の関わりの中でプライバシーの確保の徹底がなされている。記録等個人情報の保管について話し合わせ、全職員に徹底している。		
24	49	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	起床時間、入浴、食事等基本的な1日の流れの中で、一人ひとりが自分のペースで自由に暮らせるよう支援されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と一緒にテーブル拭き、下ごしらえ、片付け等を行い、食事づくりを楽しんでいる。食堂では職員が同席し、見守り中心の利用者も楽しめるよう声掛けがなされている。		
26	54	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日数や曜日の取り決めはあるが、利用者の希望により変更は可能で、一人ひとりに合わせて柔軟に対応している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者、家族からの情報をもとに、役割や楽しみごと等支援がなされており、気晴らしに散歩、買い物等の気分転換も適宜図られている。		
28	58	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の体調、気分、天気等に応じ、日常的に声掛けをし、戸外への外出支援がなされている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>職員は身体拘束をしないケアの重要性について理解しており、研修、ミーティング等で話し合いを持ち、共有化が図られ実践されている。</p>		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>利用者の所在確認にも注意を払っており、日中は自由に出入りできるよう施錠していない。夜間は、ホーム前が道路なので施錠している。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年2回、避難訓練は実施されているが、地域住民の協力が得られる体制に至っていない。</p>		<p>地域住民との協力体制の実現や消防署立会いによる避難訓練の実施、取り組みに期待したい。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事摂取量、水分量確保については全職員が意識し、毎日記録され、一人ひとりの体調に合わせ対応されている。献立表は母体クリニックの栄養士が作成しているが、利用者で話し合い時々変更している。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>感染症の流行時には、手洗い、うがい消毒の施行、マスク、手袋の着用等取り決めに基づいた対策がされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>病院を改築したホームだが、共用空間は季節を感じられる生け花、飾りつけ等がなされ、居心地よく過ごされるよう努めている。また、各居室には湿度計が設置され、加湿器、エアコン等利用者と確認しながら調整している。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時、家族と相談し、利用者がこれまでの生活を継続し、安心して暮らせるようなじみの物や好みのものを持ち込んでもらい、居心地よく過ごせるよう努めている。</p>		

 は、重点項目。